

一可儲本所物^略○中 彫櫛六百枚

〔類聚雜要抄〕^四彫櫛形 黃楊用之 髮上時用之

○按ズルニ、本書ニ圖ヲ掲ケテ、長一寸八分トアリ、

〔枕草子〕^一七日^略○正は^略○中 白馬見んとて、里人はくるまきよげにゑたて、見にゆく、中の御門のとじきみひきいる、程、かしらども一とところにまるびあひて、さしぐしもおち、よいせねばおれなどして、わらふも又おかし、

〔枕草子〕^三せちは

五月にゑくはなし、^略○中 わかき人々は、さうぶのさしぐし、さしものいみつけなどして、さまざまからぎぬ、かざみ、ながきね、おかしきおりえだども、むらごのくみして、むすびつけなどしたる、めづらしういふべき事ならねど、いとおかし、

〔枕草子〕^五あさましき物 さしぐしみがくほどに、物にさへて折たる、

〔枕草子〕^十うれしきもの さしぐしむすばせて、おかしげなるも又うれし、

〔神樂歌〕刺櫛

さしぐしは、とうまりな、つ、ありしかど、たけくのゑやうの、あしたにとり、ようさりと、とりし
かば、さしぐしもなしや、さきんだちや、

〔新撰六帖〕^五くし

明暮てさしぐしもなく成にけりたけふのせうのとるとせしまに

前内大臣

君にをきてみせんと思ひしさしぐしを朝夕べに誰かとりけん

〔類聚雜要抄〕^三五節雜事 一可儲本所物